

## 役員及び評議員の報酬等に関する規程

### (定義等)

第1条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 報酬等とは、社会福祉法第45条の34第1項第3号に定める報酬、賞与その他の職務遂行の対価として受ける財産上の利益及び退職手当であって、その名称のいかんを問わない。費用とは明確に区分されるものとする。
- (3) 費用とは、職務遂行に伴い発生する旅費（交通費、宿泊費を含む。）及び手数料等の経費であって、報酬等とは明確に区分されるものとする。

### (報酬等の支給)

第2条 役員及び評議員がその役職を退任した時は、次の区分により慰労金を支給することができる。但し、会の事業に特別の功労があった者に対しては、この基準に定めるもののほか、理事長が適当と認める額の支給並びに記念品を贈ることができるものとする。

役員等の期間が	5年以上10年未満の者	30,000円
	10年以上15年未満の者	50,000円
	15年以上20年未満の者	80,000円
	20年以上の者	100,000円

### (公表)

第3条 この法人は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項第2号に定める報酬等の支給の基準として公表する。

### (改廃)

第4条 この規程の改廃は、評議員会の決議によって行なう。

### 附 則

この規程は平成29年6月1日から施行する。

この規程は令和元年12月19日から施行する。